



毎日の給食を通して「食」への関心を高め、感謝する思いを育む。

本校では、先週の金曜日から今週木曜日までを「学校給食週間」とし、いろいろな取組を行っています。

特別メニューもあり、27日月曜日は、熊本市「わくわく楽しい給食作品展」で最優秀賞に輝いた「ほっこりさつまいものおかかマヨ和え」でした。大江小6年生の子が考えてくれたこのメニューは、サツマイモは皮にもたっぷり栄養があるので皮ごとゆでてあるなど、味だけではなく体のことも考えたものでした。28日火曜日は、優秀賞「県産野菜たっぷりで作るソイボロネーゼライス」。砂取小5年生の子が考えてくれました。熊本県産のなす、ピーマン、トマトがたっぷり使っており、おいしくいただきました。また、29日水曜日は、昔の給食を味わうメニューで、めざし、たくあん、こんさいの味噌汁でした。子どもたちは、給食が始まった当時のメニューをしっかりと味わっていました。このほかにも、給食の歴史などを動画視聴、各学年の代表児童の作文発表、リクエスト給食のアンケートも実施しました。

子どもたちには、この給食週間で、「食」に対する関心を高め、感謝の気持ちをもってほしいと願っています。月曜日には、子どもたちに「毎日給食を食べることができているのを当たり前のように感じてしまいますが、お米や野菜を育ててくれる人や届けてくれる人、調理をしてくれる人などなど、大勢の人々のおかげで給食を食べることができます。ありがたさに感謝しながら、楽しく給食や食事を取り、心も体も健康になって大きく成長していきましょう」と話をしました。ご家庭でも、保護者の皆さんが子どものころの給食の話などしていただくと嬉しいです。



【 27日のメニュー 】

新しい楠小「くらしの約束」を

ホームページにアップしました。

今週、「すぐーる」で本校の校則にあたる楠小「くらしの約束」をお知らせいたしました。これまでに保護者の皆様にもアンケート等でご意見を寄せて頂きありがとうございました。その後、子どもたちも各学級で話し合い、代表委員会で代表の子どもたちが検討をしました。11月には「校則の在り方協議会」を行い、児童代表、保護者代表、教職員代表が参加して、それぞれの立場から意見を頂きました。最終的には、12月の職員会議でこれまでの意見等を再確認して、「くらしの約束」を改定いたしました。

子どもたちや保護者の皆様から出た意見を、今回の「くらしの約束」に反映することが出来ました。子どもたちにとっては、自分たちが守る約束を今一度見つめ直し、議論することを通して、「くらしの約束」を自分事として捉え、自分たちの意見で変えていくことが出来ることを学ぶ機会ともなりました。民主主義の基礎を学び、将来の社会の担い手となる練習でもあります。自分たちで守って安全で過ごしやすい楠小をつくってほしいと願います。

ホームページにもアップしておりますので、ご参照ください。